

自己評価表の公表

園児数 70名(67家族)  
回収率 66%

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分確保されているか	87%	9%	2%	2%	2歳児には、狭く感じることがある。園庭がもう少し広げれば、外でもしっかり活動できそう。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	76%	16%	0%	9%	心理士がいればいいなど思うことが何度もあった。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になさ	53%	31%	2%	13%	多様な障害があるので難しいかもしれないけれど、バリアフリー化されていないのが残念。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	87%	13%	0%	0%	清潔だが経年劣化がある。暗い。廊下が寒い。古いながらも清潔に保たれている。
【かなりやより】昭和38年に建てられた建物なので、段差も多く全体的に老朽化しています。令和3年度に建て替えを予定して、現在準備をすすめています。職員数は法令的には満たしているのですが、専門性については継続して研修を行っています。						
適切な 支援の 提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	89%	4%	0%	7%	一人一人に合わせた細かい計画を作成してもらっている。
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	71%	4%	2%	22%	連携を各方面ととることによって、本当に子どものためになる事を知ってもらいたい。地元はすぐに連携をとうとうしてくれる。それが最終的には子どもにとって良かったと思えるほどに救われた。忙しいのはわかるが、難聴の専門家として外部へ発信したり助言したり、子どものためにできることは多くあるのと思う。保育所等訪問支援も年2回しか活用できず、子ども園や市との連携も少なく、専門的役割が果たされていない。
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	84%	9%	0%	7%	
	⑧ 活動プログラムが固定化しないように工夫されているか	76%	16%	2%	7%	少しだらだら遊びの時間があつたりと、目的がわかりづらい。毎回いろいろなプログラムを用意してもらえる。行事なども頻繁に行われる。
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	36%	18%	27%	20%	園自体では障がいのない子との交流がなく、広く認知させるためにもしてほしい。
【かなりやより】保護者の方々のご意見を伺い、支援計画に反映させ、今後も専門性を発揮していろいろなプログラムを考えて療育を行うよう、心がけていきます。						
保護者 への 説明等	⑩ 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	76%	16%	4%	4%	
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明が	76%	4%	0%	20%	
	⑫ 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われたか	76%	11%	9%	4%	今後就学に向けて、どのように子どもに難聴というものを教えていけばいいかを教わりたい。保護者研修会が度々開催される。
	⑬ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	82%	18%	0%	0%	難聴以外の成長に伴って起こる心の変化(障害について本人の理解など)も、もっと寄り添ってもらえれば良かった
	⑭ 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	89%	11%	0%	0%	担当の先生から頻繁に助言やアイデアをもらっている。訊いたことに対し、いつも答えてくれる。
	⑮ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	47%	29%	9%	16%	同じ障害同士などで連絡をとらせてもらえる
	⑯ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	82%	13%	2%	2%	
	⑰ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	87%	13%	0%	0%	
	⑱ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	78%	11%	0%	11%	毎月かわいい「お知らせ」をもらえる
⑲ 個人情報の取扱いに十分注意されているか	87%	0%	2%	11%	聴力検査室での相談は他の人に聞こえてしまう	
【かなりやより】質問されたことに答えることはもちろん、訊かれる前に必要なことは伝えられるように心がけます。						
非常	⑳ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	71%	13%	4%	11%	防犯対策が不十分。火災の避難訓練はあるが、それ以外のマニュアルといったものは見たことがない。

時等の対応	⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	82%	9%	0%	9%	
	【かなりやより】火災や地震の避難訓練だけでなく、他の非常時も想定した対応を考えていきます。						
満足度	⑳	子どもは通所を楽しみにしているか	87%	9%	0%	4%	先生方に合うのが楽しい様子。 「学校行く!」と言って 楽しみにしている。
	㉑	事業所の支援に満足しているか	80%	11%	4%	4%	最後の1年は、言語訓練とともに、これから社会(小学校)で生きていく上で、難聴をもって生きていくということを、色々な方向から教えていってもらいたい。苦勞すること、困ること、それと周りの子との違いなど。
	【かなりやより】職員全体で必要な支援とは何かを考え、子どもたちは楽しく、保護者の皆さまにも満足してもらえるように努力していきます。						